



■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線215）までご連絡ください。  
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。



ほんまやすゆきくん  
(間保・5歳児)



あべつかさちゃん  
(間保・5歳児)



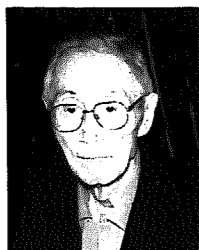
あべりゆうたくん  
(間保・4歳児)

わたしの自信作

村内で今年卒寿を迎えられた方々



草野 ツギさん  
(栄)



欄橋 倉吉さん  
(石 瀬)



伊藤治郎吉さん  
(和納6区)



井田 トヨさん  
(新 谷)



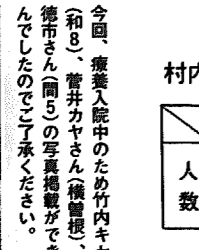
三島 マヨさん  
(和納7区)



佐藤 ヨミさん  
(新 谷)



梅沢 リセさん  
(富 岡)



今回、療養入院中のため竹内キセさん(和8)、菅井カヤさん(横曽根)、越浦徳市さん(間5)の写真掲載ができませんでしたのでご了承ください。

村内70歳以上のお年寄りの内訳

	70歳代	80歳代	90歳代	合計
人数	788	315	33	1,136

(9月1日現在)

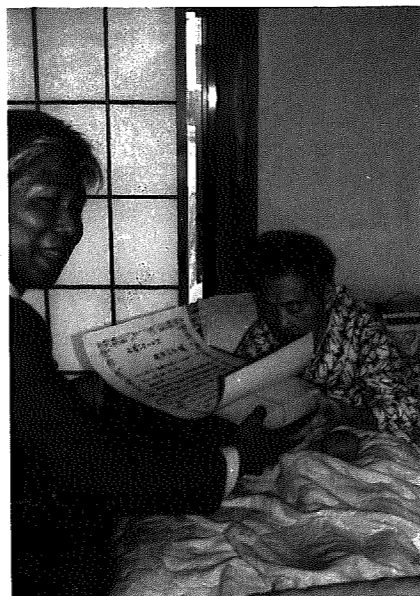
村でも卒寿(90歳)の十人を表敬訪問

村内では、和納十一区の相田ハツさんの九十八歳を筆頭に七十歳以上のお年寄りの方々は千三百三十六人。また、年々高齢化が進むなかで、村内の六十五歳以上のお年寄りは千三百二十八人、老年人口の割合でみると一三・一％となります。そこで、村ではお年寄りから、これからは元気に長生きしてもらおうと、先月十五日敬老の日(村長(助役代理)、議長など今年九十歳になられた方十人)を表敬訪問しました。

敬訪問しました。当日は、卒寿の祝いに祝状と記念の寿毛布と母前がそれぞれに贈られました。また、先月二十六日に行われた敬老会には、村内の七十歳以上のお年寄りが約七百人が出席し、歌や踊りの披露に、楽しい一日を過ごしていました。

村内最長寿の相田ハツさんに郵政大臣から白寿の祝いに

先月十八日、村内で最長寿の相田ハツさん(和納十一区)に、郵政大臣から白寿の祝いが贈られました。相田さんは明治二十五年九月十五日生まれの満九十八歳。耳がちょっと遠いようですが、目や手先はまだまだ達者で元気そのもの。「昔から好き嫌いなく食べ、体を動かすことが長寿の秘けつと。当日は、岩室郵便局の田巻局長から、「いつまでもお元気で」と祝いの品が手渡されると、「いやあ、何よりもうれしいわね」とにこにこ顔でした。これからもお元気で……。



郵政大臣からの白寿の祝いを受ける相田さん

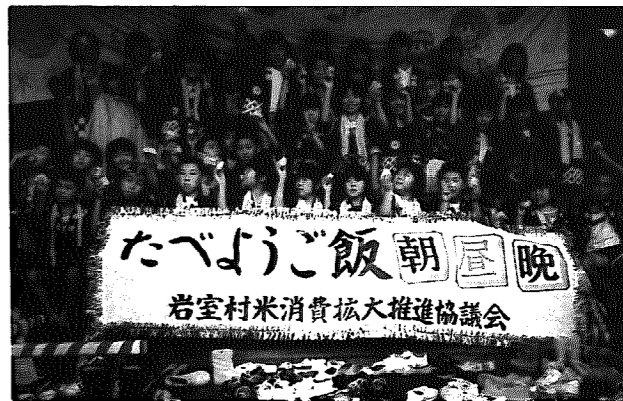
秋空に響く大声援!

先月九日(日)、秋晴れの中、岩室中学校体育祭が行われました。毎年、熱い戦いにぎやかな応援団合戦が見ものの同体育祭。当日は、日ごろ鍛えた脚力を思う存分発揮した短長距離走に熱戦を展開。それに長下駄レースや二人三脚レースなどでは、思わぬハプニングなども続出し応援席も大喜び。それに圧巻は毎年好評の応援団合戦、夏休み中から練習していたとあって、その大声援も秋空高く響き渡っていました。



スティックさばきも軽やかに

爽やかな秋晴れの先月21日、村民球場で「岩室村GB連盟ゲートボール大会」が行われました。当日は、32チーム約200人が参加。スティックさばきもあざやかにゴールを目指し熱戦が展開されました。大会の結果は次のとおりでした。優勝住吉和奈美C 準優勝二十三和会B 3位住吉和奈美B、和納1区A でした。なお、前記4チームのほか、鶴亀、八幡クラブ、陸会A、二十三和会A、夏老クラブのブロック別優勝チームが、10月7日(日)開催の村民体育祭決勝トーナメント戦に出場します。がんばってください。



今年も大騒ぎ「間瀬地区秋まつり」

年ごとににぎやかさを増す間瀬八幡大祭が、ことしも先月15日盛大に繰り広げられました。この日はあいにくの天候でしたが、間瀬地区あげてのお祭りとお祭り地区中はもう大騒ぎ。それにこしては、大人みこしや子どもみこしの行列に挟まって米消費拡大を訴えるPR看板なるものも登場し、秋祭りに華を添え!ました。また当日は、岩室村米消費拡大推進協議会から米消費拡大のPRにとコシヒカリ一俵(60kg)のプレゼント。さっそくそのお米によっておにぎりが作られ、みこしを担ぎ終った子どもに配られると、みんなおいしそうにおにぎりをほおばっていました。

「この子猫かわいいわね」  
かわいい動物たちとふれあいながら、動物との接し方を知ってもらおうと先月二十日、中央保育園で「人と動物とのふれあい教室」が開かれました。これは、最近のペットブームを反映して、犬や猫を飼う家庭が増えていることから、動物との正しい接し方などを知ってもらおうと開かれたもの。当日は、動物との接し方の話などを聞いた後、実際に子犬や子猫などとのふれあいを楽しんでもらおうと動物ふれあい広場が開かれ、園児らはそのかわいい動物たちと時間も忘れ、楽しそうにたわむれていました。

